

第2回検査標章の視認性向上検討会 議事概要

1. 日 時：平成27年3月17日（火）10：00～11：30
2. 場 所：経済産業省別館3階302会議室
3. 出席者：田宮委員、安藤委員、榎本委員、川端委員、伊藤委員（木場委員代理）、塚田委員
4. 議事（概要）

資料について事務局から説明を行い、各委員から意見等の発表があり意見交換を行った。

（委員等からの主な意見）

- 資料2のアンケートに提案されたデザイン案について、年ごとに色を変える際の制約はあるのか。
- 貼り付け位置の違いについて、今後の視認性試験で実施していくのか。
- 視認性の観点からは、背景と文字のコントラストが重要。一般的には明るい背景と黒い文字が見やすいと言われており、背景を薄い色とすることでインパクトを与えられる。
- 文字は太くすることで見え易くなるが、太すぎると見えにくくなる場合もある。太字と細字を併用することでインパクトを与えられる。
- 現行のデザインは国交省マークのコントラストが強すぎて見えにくいのではないか。

（事務局の説明）

- 資料2のデザイン案については、アンケート結果をそのまま集約して作成したもの。年ごとに色を変える場合の事務管理工数の増加やコスト等の運営上の留意点は、今後改めて提示したい。また、検査標章の作成にかかる費用は検査手数料でまかなっていることから、費用対効果の観点からの検討は重要と認識している。
- 視認性の試験方法については、次回検討会で示す予定であるが、アンケート結果では約7割が正面上の貼付が良いと回答しているため、その回答を尊重したい。
- ご意見を踏まえ、試験方法について次回検討会で提案したい。